「思い切り遊べる」

金大で義眼を新調

来日中のネジール君　がん再発もなく

一九九九（平成十一）年に金沢で目のがんの治療を受け、義眼調整のため再来日したネジール・シニック君（三）＝コソボ共和国在住＝は十一日、金大附属病院で診察に臨み、希望していた右目の義眼を新調した。温存した左目にもがんの再発はないことが確認され、ネジール君は「これで友達と思い切り遊べる。日本の医療に感謝しています」と晴れやかな表情で語った。

ネジール君の診察は、に問題はないことを確の状態なら、今後がん（網）と母親のユルプロテーゼ」の梶山直午前十時から始まり、認した。左目には腫瘍が出ている可能性は非眼科の高比良雅之講師常に低い」と診断。不の跡はあるものの大きが、右目は義眼が小さくなっているため、同くなっている以外、特講師は「十二歳までに親のアドゥラマンさん眼を作った「カジヤマメーテさん（左）も、安樹さん＝京都市＝が義眼の状態を調べ、新しい義眼を製作した。梶山さんによると、ネジール君の義眼は耐用年数を過ぎているものの直径が二㌢ほど大きく、目から落ちにくい状態はよく、「大切に扱ってきたことがよく分かる」という。新しい義眼はこれまで育っていたものより一回り大きくなっており、「以前よりずっと快適」と満面の笑みを浮かべた。

終始くつろいだ様子で診察を受けたネジール君。「コソボの病院に比べ金大附属病院はきれいだし、機器もすごい。医師も看護師も親切で自分の家のように安心できた」と感謝の言葉を並べた。院内では、他の患者から「九年前の報道を覚えています。大きくなったね」「頑張って」と声を掛けられ、日本語で「ありがとう」と答える場面もあった。

成長で義眼が合わなくなってから、激しい運動をすると義眼が落ちることもあったが、ないがしろにしているようでは屋台骨がおかしいでも不思議ではない▼みんなが飛びつくような新商品が消費を呼び戻すカンフル剤になるとも聞く。ものづくり日本の底力を見せたい。その開発のためにも村への投資は渋りたくない▼迷走する首相の発言に雇用の展望は見えない。政治の人材難にもてこ入れがほしい。国力が衰える一方である。

義眼を新調し、笑顔を浮かべるネジール君
＝金大附属病院

診察を受けるネジール君

景気、雇用

6兆円規模追加対策

首相きょう会見で表明

麻生太郎首相は十二日、金融機能強化法改正案と新テロ対策特別措置法改正案の成立を受けて記者会見するに伴う。複数の政府関係者によると、首相は急速に悪化している景気、雇用環境を踏まえ、事業規模で六兆円程度の追加対策を打ち出し、二〇〇八年度第二次補正予算案と〇九年度予算案に盛り込む方針を表明する見通しだ。

また二次補正が来年二月までに成立することを想定し、二次補正と〇九年度予算を一体的に編成する「一四カ月予算」とすることも検討する。

時鐘

日本人4人同時受賞の快挙となったノーベル賞の授賞式がストックホルムで開かれた。受賞者の晴れやかな姿を見ていると、自分のことのようにうれしく誘らしい。ノーベル賞に限らず、さまざまな分野での日本人の活躍や日本製品に対する高い評価は、心の支えになる▼ユニークな言動で人気を集める物理学賞の益川敏英さんは父親から理科の面白さを学んだという。父親は電気技師を目指しながらも砂糖問屋を営んでいた。父親の理科への情熱が益川さんを科学の道へ進ませたに違いない▼企業にも情熱がほしい。企業の財産は人と言われる。豊かな人材は国の活力と武器でもある。が、冷え込む景気に県内ぜひとめる各地でリストラや内定取り消しが相次いでいる。人を

北國新聞
発行所
北國新聞社
〒920-8588
金沢市南新町2番1号
番号案内(076)263-2111
富山本社 番号案内(076)491-8111
〒930-8520 富山市大手町5番1号
©北國新聞社 2008年

小児科・アレルギー科・内科
加藤小児科医院
金沢市入江一丁目13番地
☎(291)1821
ホームページ
http://www.naknet.or.jp/katoh/

ホームページ
http://www.hokkoku.co.jp/

http://www.ukita.or.jp
うきた産婦人科医院
金沢市新神田4-7-25
☎076-291-2277